

学校になじめない
お子さまの
「自信を育てたい」
お母さまへ



子供は突然、成長するときがある！

子供は突然、成長するときがある

お父さん、お母さんは、
やるべきことを実践する。そして、

お子さまも、やるべきことは、
きちんと実行する。そうして…

その結果については、
達観していきましょう

・・・とよく言われます。
どこかで、お聞きになった言葉ですね。

しかし、ここで
勘違いして欲しくないことがあります。それは、

「結果は達観する」といっても、
「努力が無駄だ」というわけではない、

ということです。

なぜなら、子供は、
「突然成長する」ということが
あるからです。




プラトー現象

私たちは、プラトー現象を
何回も経験しています。

いくら努力しても、頑張っても
なかなか成果が出なかった。ところが、

あるときから、突然、グングン
業績がアップしたという経験を
あなたも、きっと、お持ちでしょう。



それと同じように、なかなか
計算力がアップしなかった子が、

がんばり続けていて、あるとき
急にグンと伸びる
ということが実際にあります。

この現象は、計算力だけではありません。

漢字や、縄跳びや、水泳でも、
同じような事例が沢山あります。

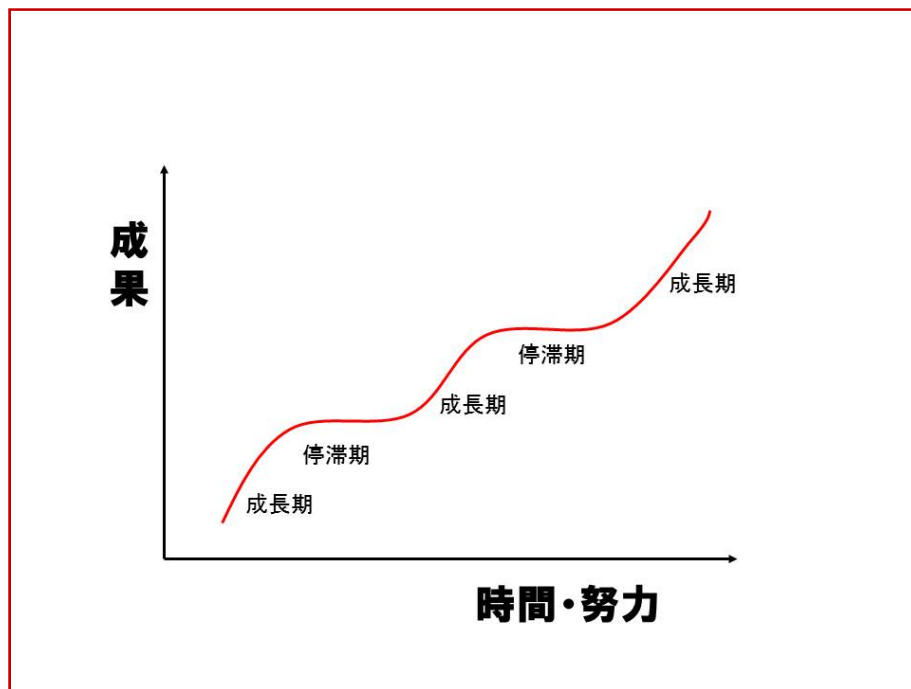
また、子供だけでなく、
大人でも、そういうことがあります。

しかも、これについては
心理学でも、証明されているのです。

それは、学習曲線（または努力曲線）
と呼ばれるグラフで
説明されることが多いようです。

あなたも、ご覧になったことが
あると思います。

そのグラフは、
X軸（横軸）が、「学習」や「時間・努力の量」を、
Y軸（縦軸）が、「成果」を表します。



私たちは、無意識のうちに

学習や練習の量が増えれば
成果も増える

・・・と思っているものです。

つまり、


~~「X軸とY軸は、比例の関係にある」~~

というイメージがあるように思います。

しかし、心理学で研究された
学習曲線によると、実態は、
それほど単純では、ありません。

グラフをご覧頂いたとおりで、
グラフはスロープ状ではなく、
「階段状」になるのです。

つまり、



「成果がグンと上がる時」と
「全く上がらない時」が
交互に表れるのです。


学習や練習を続けても
なかなか、成果が表れない・・・

このように、
足踏み状態の時期が必ずある
というわけです。

この足踏み状態のことを、心理学用語で
「高原現象（プラトー現象）」といいます。

どんな学習においても
この高原現象は必ず表れます。

この状態のときは、
努力を続けても、なかなか
成果が形になって表れません。



時によっては、それが
かなり長く続きます。

状況によっては、
1カ月だったり、1年だったり、

学者や世界選手権の選手のように
きわめてハイレベルの人たちだと、
長期間にわたることもあるそうです。

しかも、その期間が、なんと！
10年ということもあるといいます。

そういうときは、誰でも、
努力することが、
無意味に思えてきます。

人が努力をやめるのは、
多くの場合、
このプラトー状態のときです。

たしかに、努力しても
その成果が見えない時には、
誰でも、空しくなるものです。


多くの人が努力をやめるのは、
このプラトー状態のときなのですが、

この状態のときにこそ、私たちは、

次に大きく飛躍するための
「マグマ」を養っているのです。

この状態のときにこそ、
努力を続けることが、大切なのです。





そうしないと、
次に大きく飛躍するための
「力」は養えません。


だからこそ、このように
「力」を養うときにこそ、
励ましてくれる人が必要なのです。

優しく見守ってくれる人がいてくれるだけで、
とても心強いものです。

誰にとっても、嬉しいことです。

そして、私たちは、
頑張り続けることができます。

このことは、お子さまの
成長と勉強などについては、
特に、覚えておいて下さい。



多くの先生たちが、何回も
何回も経験しています。


頑張っても、頑張っても、
なかなか、「掛け算の九九」を覚えられない。

そのような
小学2年生の子がいたそうです。

親も、教師も
さじを投げかけました。

それでも、その子は、続けました。
何度も何度も、
練習を続けているうちに、

ある日、突然、
「掛け算の九九」を
言えるようになりました。



2の段、5の段、4の段が
一気に言えるようになって、


実のところ、生徒本人も
びっくりしていました。

お父さんも、お母さんも、
さらには、教師も
びっくりしました。

スラスラ言える「掛け算の九九」は、
その後も、どんどん
増えてゆきました。

この子は、
高原現象の状態が長かったので、

その分だけ、
一気に飛躍するための
「マグマ」をたっぷり蓄えていたのでしょう。



勉強でも、どんなことでも、
努力しても、なかなか
成果が表れない子がいます。

残念なことかもしれませんが、
これは、事実です。ですから、

お父さん、お母さんは、
やるべきことを実践。そして、

お子さまも、
やるべきことは、実行した上で、

その結果については、
達観していきましょう・・・

だからといって、
努力が無駄だ
というわけではありません。

どのお子さまにも、突然、
グンと成長するときがあるからです。

それを期待しつつ、・・・しかし、
あせらず、努力しましょう。

結果については達観しつつ、長い視点で、
お子さまを育てましょう。

お子さまには、良いところが必ずあります。
それを、伸ばしてあげてください。



お子さまの学習、習慣づくり、将来の展望など、
どんな小さなことでも、気軽にお電話下さい。

「スタディ・コーチング・ラボラトリー」代表の
福田秀一が、直接、お話をうかがいます。

ご連絡は、こちらです。

e-mail : a_totalperson@yahoo.co.jp
(PCにて、24時間受付)

